

Press Release

July 1, 2021 | ID: 21-V032

ボルボ・カーズ、走行中の車からのリアルタイムデータを活用して 新しい安全基準を設定

本プレスリリースは、6月30日スウェーデン本社発の翻訳版です

次世代のボルボ車は、最先端のソフトウェアとハードウェアに加え、リアルタイムデータを活用した継続的かつ迅速な安全機能の改善により、ボルボ史上最も安全な車となる予定です。

ボルボ・カーズは、安全性に対して常にデータ重視のアプローチをとっており、実際の道路上で起きていることから得られるデータを用いて新しい安全技術を開発し、車をより安全なものにしてきました。ボルボ・カーズは、次世代のクルマにおいて、お客様が同意のうえボルボ・カーズのクルマの安全性向上に協力していただければ、走行中のクルマのデータをリアルタイムに処理することを検討しています。

ボルボ・カーズは、お客様に安全性や交通安全の向上に協力するを選択していただくことで、継続的かつ迅速に車の改良を行い、常に安全性を向上させることができます。このデータには、Luminar(ルミナー)が提供する高解像度のLiDARのようなセンサーから得られる車外環境の継続的なインプットが含まれます。

ボルボ・カーズのエンジニアは、これにより、AD(自律走行)機能の検証をより迅速に行うことができ、AD技術の安全な展開を促進することができます。世界中の何万人ものボルボのドライバーが何百万キロもの距離を走行して得られたデータを活用することで、エンジニアは特定の地域におけるAD機能の検証を、限られた台数の車でテストコースを走行するよりもはるかに早く行うことができます。

検証された既存システムのアップデートや新機能はOTA(無線アップデート)によって迅速に展開され、ボルボ車の安全性を段階的に向上させることができます。この新しいアプローチによる安全開発の最初の車は、ボルボ・カーズの全く新しい電動車専用技術をベースとしたSUVになります。

ボルボ・カーズの自律走行ソフトウェア部門であるZenseact(ゼンセアクト)のCEO、エドガード・アンダーソンは「リアルタイムのデータの助けを借りて、開発プロセスをスピードアップし、数年かかるものを数日に短縮することができます。リアルタイムに収集することで、より多くのデータが生成されるため、より優れた質の高いデータセットを作成することができ、安全性の次の進歩に、より良い判断を迅速に下すことができます。私たちは、車内および車外の安全性を高めるために、大きな飛躍を遂げようとしています」と述べています。

ボルボ・カーズとZenseactは、収集するリアルタイムの交通データを処理するために、今後数年以内に200ペビバイト(2億2,500万ギガバイト)以上のデータを格納するデータファクトリーに投資します。人工知能(AI)の機能を利用することで、記録的な速さでデータを収集することができます。このようなデータを収集されるかどうかはお客様が選択でき、収集されたデータはすべてプライバシーを十分に保護した上で集計されます。

ボルボ・カーズの研究開発の責任者であるマッツ・モバークは「安全性は当社の伝統の一部であり、当社のバックボーンでもあります。いまやソフトウェアが当社の安全技術開発の重要な部分を占めています。我々は、業界をリードするボルボ・カーズ事故調査チームの 50 年にわたる専門知識を引き続き活用する一方で、新たにバーチャルな事故調査チームとして AI を活用することもできるのです」と述べています。

リアルタイムデータの活用は、ボルボ・カーズが長期的なビジョンとして掲げている「衝突が起こらない未来」の実現に向けたもので、最高水準のセンサーや、継続的に改良されている先進的な安全システムや自律走行システムを車に搭載することで実現していきます。

ボルボ・カーズの次世代の電気自動車のフラッグシップ SUV には、業界をリードする安全技術が標準装備され、自動車の安全性に新たな基準を設けることで、より多くの人命を救うことができます。Luminar が開発した LiDAR を含む最先端のセンサーと、NVIDIA DRIVE Orin™システム・オン・チップを搭載した自律走行用コンピュータを標準装備します。

ボルボ・カーズは、この最先端のハードウェアと、ボルボ・カーズ、Zenseact、Luminar による次世代の定評ある衝突回避技術のためのソフトウェアを組み合わせることで、新しい安全パッケージが全体として死亡重症事故のみならず事故そのものを減らすことを期待しています。

時間をかけて改良を重ね、命に関わるような状況でドライバーに何度も警告を発しても反応しない場合に、車が自ら対処できるようなハードウェアとソフトウェアの機能を備えていきます。つまり、ドライバーが常に最終的なコントロールを行う一方で、クルマとその安全技術は、もう 1 つの目と頭脳のようにドライバーをサポートし、見守ることができるようになるのです。

2020 年のボルボ・カー・グループ

2020 年度のボルボ・カー・グループの営業利益は 85 億 SEK(スウェーデン・クローナ)(2019 年度は 143 億 SEK)を記録しました。売上高は 2,628 億 SEK(前年 2,741 SEK)に達しました。2020 年通年の世界販売台数は 661,713 台(705,452 台)で、2019 年と比較して 6.2%の減少となりました。

ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは、1927 年に創業した高級自動車ブランドの一つで、2020 年には約 100 カ国で 66 万 1713 台を販売しています。2020 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 40,000 人(前年 41,500 人)で、ボルボ・カーズの本社、商品開発、マーケティング、管理機能は主にスウェーデンのイエーテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエーテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフストローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。

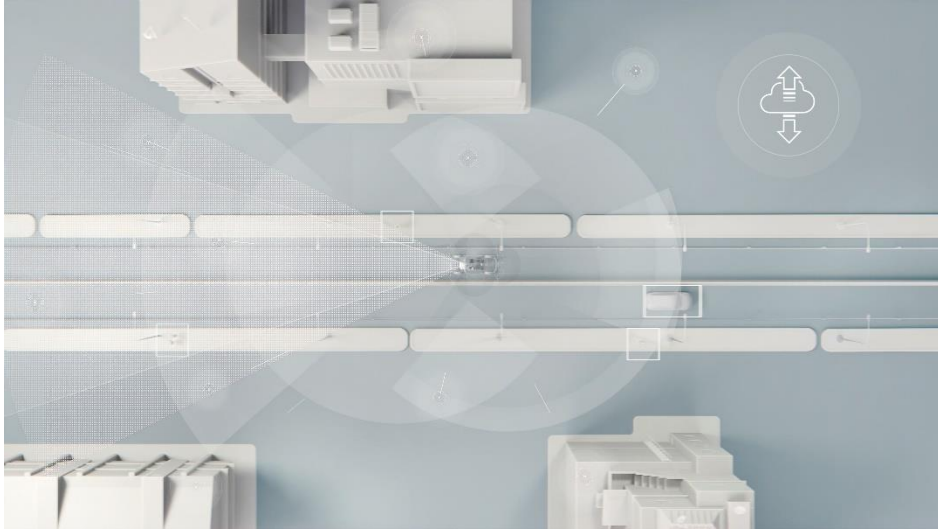
ボルボ・カーズは、企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後 5 年間で電気自動車の世界販売台数を 50%にし、500 万人のお客様とのダイレクトコンシューマービジネスの確立を目指しています。また、ボルボ・カーズは 2040 年までにクライメート・ニュートラルを実現することを目標に、CO₂ 排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited